

2014年度永里一吉氏寄贈 永里吉光旧蔵資料・図書

伊 東 久 智

ながさとよしみつ
永里吉光（1874～1964）は、日清戦後の1896（明治29）年7月、東京専門学校邦語政治科を卒業した校友である。と同時に、郷里・熊本県において長らく村長（葦北郡津奈木村及び菊池郡菊池村）を務め、明治末期から昭和初期にかけて、地域の振興に尽くした名望家でもあった。本資料群は、断片的ながら、そうした永里の軌跡の一端を伝えてくれる貴重な内容を備えている。

資料群の構成は、以下の通りである（目録は本記事末尾参照。また、以下の本文中、【目録 ID: ～】との注記は、目録上の「目録 ID」と対応している）。

資料

- ・ 卒業証書 小学校・高等小学校・東京専門学校
- ・ 書簡 東京専門学校時代～帰郷前後（明治20～30年代）
- ・ 書類 津奈木村村長時代（明治40年代以降）
- ・ 辞令等 村政関係・政党支部関係ほか（明治40年代以降）
- ・ 写真・その他

図書

- ・ 書写本
- ・ 法学／経済学／語学 東京専門学校時代前後の教科書・参考書類
- ・ その他 明治初期刊行図書・洋書ほか
- ・ 部分 書籍・講義録の一部
- ・ 古典籍・晋書 五代史ほか

1 東京専門学校卒業まで

以下、永里の略歴を説き起こしながら、適宜、主要資料の紹介を加えていくこととしたい。

永里は後年、自身の生い立ちから東京専門学校卒業までの時期について、「永里吉光自叙伝」と題する手書き（墨書）の小冊子に詳細を記している【目録ID: 64】。やや長文ではあるが、以下にその全文を翻刻・掲載する。

一、家庭教育

私は明治七年葦北の津奈木村に生れましたが此村は昔し日本国民の祖先が葦踏み分けて入り給ひしと云う名邑であつて深水玄門 千々岩忠三 千々岩常人 伊藤敏行などの名士が居られ此人達の善行美談かずゆきを父一行や子守の福松などの口から聴かされまして私の家庭教育は恵まれたる者でした

二、学校教育

六歳となり小津奈木小学校へ入学しますと校長岡松常助先生は敬天愛人主義の立派な人てありましたが久しからずして斎藤実玄先生と代られましたが此の方も〔横井〕小楠先生の晩年の高弟だつたそうで其の日に新なりの教育を受けました

十歳となりまして八代の隈部真直先生が来任されましたが此方は県内の名家て其の名が示すやうにごく正直の御方でしたから生徒は元より父兄の信頼を得られ其の職を辞して帰るゝ時は年長の三人の生徒が和船で八代まで見送る事となり私は最年少て是に加へて貰う事となりましたが先生は大いに悦はれ三日間も自宅へ引留めて名所古跡を案内し尚又加藤細川時代の治国策治水策まで物語つて下されました

十四歳となり佐敷高校へ入学しますと校長森常樹先生は東京の福沢〔論吉〕先生の高弟で献身的の御方て其の感化を受けました

十六歳て佐敷校を卒業しますと病気にかゝり自宅て療養して居ますとど

こともなく平和——と云う声が流れて来まして私の耳へは天楽のように響きましたけれど此の平和の声に疑を抱く人達があつて私は不思議に思い熊本へ出て研究せんとして居りますと恰もよし深水清氏〔1869年熊本県生まれ。医師・教育家として高名であった深水玄門の孫。後に九州日日新聞社社長などを務める〕か夏休みて東京から帰つて来られたが同氏は未だ学生ではあつたけれどなか——えらい御方で父は大いに信用して居りましたから熊本まで御引連れを御願すると同氏は直ちに快諾し私に向つて何の爲めに熊本遊学するかと問はれましたから私は平和研究の爲めと答へますと夫は中々面白いがそう簡単には行かぬ先つ実力を養ひ常識を育て、かゝらねはと熊本まで同行し良さそうな学校へ入れて上京されたが東京へ着かる、と大石正巳の二大政策や稲垣満次郎の東方策など送つて下されたから私は大に感謝しつ、精読しつ、日曜祭日には諸学校の先生達を訪問して御意見を聞きましたれど宿願の平和論は要領を得ずされば東京へ上つて一研究せんと準備して居れば深水清氏再び帰郷されました私は是は不思議天の助けと御連れを御願すると夫はよし連れて行く所か東京へ上れば同宿してあげると御一所に出発すれば恰も親身の親〔ママ〕にられて旅行するが如く楽々と上京しまして早稲田へ入学の試験を受けますと特別選抜て其翌日より登校するようになれば深水氏は大に悦ばれ同氏の友人て有名なる上田仙太郎氏〔1868年熊本県生まれ。後に外交官となる〕や同しく茂次郎氏〔1870年熊本県生まれ。後に熊本医学校等で教鞭を執る〕其他親しき人達へ引合せ下され尚又大先輩たる佐々友房先生に迄も御紹介下さる、と云う風にて沢山の友人が出来まして随分学知恵ある人も居らる、ようですから或る日知恵者らしい人へ東洋の平和の實際を尋ねますと其人答へて曰く或る侵略国あつて強大の支那へは軍備をすゝめて国力を消〔ママ〕せしめ自衛力の強い日本へは平和をすゝめて防衛の力なきに至らしめんとする事実語られたから私は大に驚き是は仕舞つた取返しのつかぬようたと取乱せは其人曰くあなたが平和の声に迷つた失敗は仕方ないからあなたは学生として又は国民としての眞の立場にかへり此反敗〔失言〕を償なはねはならぬてはないかと言はれますか

ら私は箇人の談話でも多数の集会でも公々然として日本の防衛を高調すれば学生達は大に共鳴されました世間では六派連合会〔所謂「硬六派」〕などありましたから私は深水氏と共に出席しまして国論の一致の表現となり議会では製艦費可決となりましたそうなれば海軍省は今から造り居つては間はぬと出来たる者を探し居らるゝとの事なりしが暫くすれば支那艦隊か豊島沖に来襲との事なりしか俟ち構て居つたる日本艦防の爲め包圍され全滅暫くすれば黄海の大海戦支那は全艦体を盡して大将は堅艦に乗つて勇戦し我軍の軍令部長は御用船に乗つて指揮したと云う決死の戦闘振なりしかは支那艦隊は全滅し我軍は連戦連勝し旅順威海衛も陥落し日本軍北上と云う形勢となりしかは支那の首相李鴻章は自ら日本へ来り台湾と遼東半島を捧けて降伏した是はうまいあまり甘過ぎると警戒して居ると果して遼東を還せとの三国干渉されば我国の輿論は是は逆らわぬがと其の抗議に依して一時平和に還りました茲に至り平和論の危険間隙に知つたる私は大に悦び平和論の置き場に困られた徳富猪一郎氏は洋行して世状を研究さるゝ事となり我々県の学生を日本倶楽部へ招待されましたが其演説の辞に曰く私は西洋を見に行くのではない日本を見に行くのである富士を見るには其の真下では判らぬ遠く遠州湾よりてなければと是は至言であつた

私は老父母の事が気にかゝり明治二十九年学校卒業すると郷里に帰りました

三、村政〔以下記載なし〕

後年の回想であるという留保は必要であるが、この「自叙伝」によれば、永里は「平和研究」を志し、同郷人・深水清の助力を得て上京。東京専門学校に入学した。文中、「佐々友房先生」や「徳富猪一郎氏」（蘇峰）の名もみえるように、若き日の永里をして、津奈木から熊本、熊本から東京へと向かわしめた背景の一つに、同郷の先輩に対する敬意や憧れ、あるいは熊本県人としての矜持（例えば、【目録 ID: 24】など）があつたと指摘することは可能だろう。

卒業の年から逆算すれば、永里の東京専門学校入学は1893（明治26）年、日清戦争がはじまる前年のことである。在学中、「ある知患者らしい人」との「東洋の平和の実際」をめぐる会話を通じて、「日本の防衛を高調する」対外硬の立場へと移っていったという下りなどは、当時の学生を包んでいた雰囲気伝えて興味深い。なお、「自叙伝」には「村政」という項目が設けられてはいるが、記載はなく、何らかの理由で中断されたものらしい。

2 帰郷前後

さて、永里は1896（明治29）年7月20日、東京専門学校邦語政治科を卒業した【目録 ID: 13】。「自叙伝」には卒業後直ちに帰郷したように書かれているが、実際に帰郷したのは1899（明治32）年のことであり、3年のブランクがある。その間の動静について、寄贈者の永里一吉氏（吉光ご令息・四男）・永里綾子氏（一吉氏ご息女）に確認したところ、卒業の前後には体調を崩し（結核を患っていたという）、療養の傍ら、薬学の研鑽などに努めていたとの情報を得ることができた。卒業から3ヵ月後の10月、日本赤十字社の正社員に列しているという事実も【目録 ID: 48】、その辺りの事情と無関係ではないだろう。

また、資料群中の書簡も、卒業から帰郷までの3年間に集中している。その大半は父・一行宛の学資送付願の類であるが、折りに触れて時事問題にも言及しており、当該期における永里の考え方を窺うことができる。ここでは、一例として、1899（明治32）年4月3日付の一行宛書簡を紹介しておこう【目録 ID: 18】。

〔封筒表〕 肥後葦北郡津奈木村 永里一行様 親展（消印明治32年4月6日）

〔封筒裏〕 東京本郷区菊坂町八二番地丸山館 永里吉光

貴翰拜見仕候へば御揃益々御機嫌克御座被遊候由大悦至極ニ奉存候二ニ拙儀益々無事此地勉強罷在申候へば乍憚御休神被下度候 然るに今度御送被下候学資貳拾円確ニ拝領仕候へば左様御了知被下度候

庄熊〔従弟〕 今度之試験都合宜敷参らす残念の次第二御座候今後ハ勉強致し此後之試験には見事恢復仕候様御戒被下度候尤も福恵〔妹〕も益々勉強仕候様呉々も御申聞被下度殊ニ学校ハ欠席が一番宜敷からず候へば如何なる事有之ても病気の外ハ欠席致させられざる様致させ被下度候

四月一日ヨリ郵便税ハ三銭はかきハ一銭の者へ五厘印紙を張る様相成申候今度の議会ハ先般来度々申上候通り国民〔協会〕自由〔憲政党—旧自由党系〕大勝利進歩〔憲政本党—旧進歩党系〕大敗北ニ御座候処其自由国民ハ殆んど星〔亨〕佐々〔友房〕兩人の力ニ御座候然れば近頃ハ右兩氏の声望大ニ高く御座候処佐々氏ハ今度新ニ一の党派〔翌年7月結成の帝国党カ〕を組織せんとして目下用意中の由ニ御座候

当地の桜も早き所ハもはや三分通り開き誠に見事ニ御座候昨日は日曜日に候へば友人兩三人と上野の桜見ニ参り申候処甚見事にて候ひし 余ハ後日ニ譲り右まで早々謹言

四月三日 吉光 謹白

御父上様

この書簡からは、勉強に励みながら、帝国議会の趨勢に強い関心を示し（特に、同郷の佐々友房ら旧国権党陣営に対する強い期待意識を読み取ることが出来る）、時には友人たちと連れ立って花見にも赴く。そうした一上京青年の姿が浮かび上がってくる。また、先立つ3月18日付の書簡には、「昔ハ当方より学びに参りし支那朝鮮ヨリ近頃続々として来学者有之〔中略〕其上印度即チ天竺ヨリも数名参り居申候 釈迦孔子の国人を東京ニ引寄せて教込様相成候事誠に愈快の次第二御座候」などとの記載があり【目録ID: 17】、留日学生の実在も、永里の目には新奇に映っていたようである。

同年中に帰郷した永里は、津奈木村の村会議員を務める傍ら、旧国権党陣営を支援する政治活動を展開した。明治30年代のことである。そのことは、例えば、1902（明治35）年8月の第7回総選挙に際して、知人から寄せられた書簡中、「此度の撰挙葦北郡は大兄〔永里〕の御受持とか実に御多忙察上げ申候」

とあることや【目録 ID: 30】、総選挙後、鎮西館の佐々友房・出田信記・安達謙蔵・山田珠一・大淵龍太郎連名の感謝状（印刷文）が贈られていることなどからも【目録 ID: 31】、間接的ながら窺うことができる。

3 津奈木村村長時代

1910（明治43）年9月19日、永里は30代の若さで津奈木村の名誉職村長に就任した【目録 ID: 49】。前村長・斎藤季格からの引継事項は、「御即位五十年記念事業二関スル件」「津奈木小学校増築二関スル件」「宮崎線道路改鑿二関スル件」「赤崎往還改修ノ件」「放牧場設置二関スル件」「部分林処分ニ関スル件」「村及部落有財産学校敷地トシテ買取ナシタル土地ニシテ名義書替未済ノ分ハ此際速カニ登記ノ手續ヲ了セラルベシ」の8項目であった【目録 ID: 36】。最後の2項目からは、当時、内務官僚などが中心となって推進されていた地方改良運動の波及を読み取ることができる。

村長時代の永里は、「道村長」とも称されたというように、村内道路網の整備に尽力するとともに、各種の勸業策を実行していった。1914（大正3）年4月、葦北郡農会の他府県実業視察員となり、静岡・岐阜・岡山地方の果樹栽培・麦作を学ぶなどしていた永里は【目録 ID: 50】、柑橘類の栽培に目を付け、その導入・普及に努めた。永里自らが作成した「温州橘栽培収支計算書」（1921年12月）は、導入初年から20年先までの収支を予測計算したもので【目録 ID: 41】、熱意のほどが窺われる。その甲斐あってか、2年後の1923（大正12）年には、農会の品評会において彼の「温州」が1等賞を受賞している【目録 ID: 43】。

また、1914（大正3）年5月、産業組合（津奈木信用購買組合）を設立し、その組合長となっているほか【目録 ID: 40】、時期は不詳ながら（1919～20年頃カ）、村当局者・学校職員・神官僧侶・村会議員・学区会議員・各団体代表者及び村民代表者（各区10戸から1人ずつ選出）からなる津奈木村自治会を組織するなど【目録 ID: 39】、村政の基礎固めにも力を注いだ。同会の目的は、「身体ヲ強健ニシ精神的修養ヲ行ヒ勤儉ノ美風ヲ養成シ富強ノ良村トナリ村民相互

ノ幸福ヲ増進スル」こととされ、そのために「津奈木村必行事項要目」（5事項67要目）を定めるとある。原敬内閣期における民力涵養運動の推進が背景にあったとみてよいだろう。以下、5つの必行事項のみ掲げておく。

- 一、健全ナル国家観念ヲ養成スル事
- 二、自治観念ヲ陶冶シ公共心ヲ養成スル事
- 三、世界ノ大勢ニ順応シテ日新ノ修養ヲ積マシムル事
- 四、相互融和シテ彼此共済ノ実ヲ挙ケシムル事

五、勤儉力行ノ美風ヲ作興シ生産ノ資金ヲ増殖シ生活ノ安定ヲ期セシムル事

なお、67の必行要目には、「毎朝神仏ノ礼拝ヲ為スコト」などの精神主義的な内容のものや、国体観念の涵養を謳ったものが目立つが、貧困児童保護会・免囚保護会の設立など、特徴的と思われる内容も散見される。

その他、村長就任の前には、鉄道（八代～水俣ルート）や企業（日本窒素肥料株式会社水俣工場）の誘致活動にも携わっていたようである（ただし、本資料群中にはそれらを裏づけ得る関連資料が含まれておらず、一吉氏・綾子氏からの情報提供に基づく）。後者——チッソ水俣工場の誘致——について若干補足しておく。水俣工場の着工は1907（明治40）年3月、完成は翌年8月のことであり、同社の社史によれば、「当初は水俣から20kmほど北の熊本県佐敷郡計石村（現・葦北郡芦北町）や8kmほど南の鹿児島県中出水村（現・出水市米ノ津）を候補と考えた。しかし、水俣からの強い工場誘致の働きかけによって、水俣に建設することを決定した」（『風雪の百年 チッソ株式会社史』チッソ株式会社、2011年、p.8）という。この誘致活動に永里が関係していたとすれば、時期としては村長就任以前ということになる。もっとも、村長在職中の1915（大正4）年には、水俣新工場（旧工場から約1km離れた場所で、用地は5万坪）が着工しており、あるいはそちらに（も）関係していた可能性も排除できない。

1924（大正13）年3月、後を継いだ六車茂一郎村長から、永里に「感謝状」が贈られている【目録ID:44】。そこでは、「在職拾貳年ノ永キニ渡リ此ノ間専ラ意ヲ村政ノ改善發達ニ用ヒ治績多シ從來最モ難事トサレシ納税滞納ノ悪弊ヲ

匡正シテ納税ニ対スル良風ヲ馴致シ爾來滯納者ヲ根絶セシカ如キハ其一例ナリ
 其他道路ノ改修ヲ企テ交通ノ便ヲ計リ亦学校ノ改築ニ勸業ノ奨励ニ功績ノ顕著
 ナル者アリ」と、永里の多面的な村政運営が評価されている。

4 菊池村村長時代前後から戦後まで

永里のその後を知ることができる資料は、現時点では断片的なものにとどまっている。まず確認できるのは、政党支部とのかかわりである【目録 ID: 56～58】。1926（大正15）年6月18日、憲政会熊本県支部長安達謙蔵の名義で、「党議ニ抛リ鎮西館建築委員」に委嘱されている。さらにその後、1927（昭和2）年8月18日に「〔立憲民政党熊本支部〕政務調査部理事」、9月2日に同党「葦南支部総務」に、それぞれ嘱託・推薦されている。旧国権党陣営との繋がり、延長線上におけるものであろう。東京専門学校卒業で憲政会・民政党の支部役員者といえ、早稲田系の人脈を連想しがちだが、永里の場合、それとは異なる人脈を通じて——つまり安達謙蔵系の人脈を通じて——非政友会系の党派に連なっていたのである。

次に、1929（昭和4）年5月10日から32（昭和7）年10月30日までの約3年半、菊池郡菊池村の村長を務めていたことが確認できる（菊池郡町村会編『新編菊池郡誌』、菊池郡、1956年）。一吉氏・綾子氏によれば、村長就任は県庁からの要請によるもので、水平社対策としての意味合いもあったということだが、現時点では裏づけとなる資料を得られていない。なお、両氏からは、それ以前に興した事業（土地の売買など）に失敗し、資金繰りに窮するようになったことが、同村の村長を辞任する原因であったということ、また、1930（昭和5）年頃には、台湾への移住を計画するも、やはり資金の問題から断念せざるを得なかったということなどについても、情報をお寄せいただいた。あるいは、昭和恐慌の影響ということもあっただろうか。

戦時中には、荒木貞夫・松岡洋右【目録 ID: 34】らに面会を乞い、国事に関する所見を訴えるなどしていたようであるが、戦後にも、『世界平和八大聖賢夢物語』と題した書物を著し、徳富蘇峰らにその出版を働きかけていたことが

確認できる。例えば、神奈川県中郡二宮町の徳富蘇峰記念館には、秘書の塩崎彦市宛を含め、合計13通の永里発信書簡（葉書を含む）が残されており、そのなかの一通には、次のように記されている。

〔封筒表〕 静岡県熱海伊豆山 徳富猪一郎様 賀状

〔封筒裏〕 熊本県葦北郡津奈木村字町原 永里吉光

謹賀新年

つらつら
情々回想しますと日清戦後御洋行の直前在京我県学生を日本倶楽部に御招待被下御演説を拝聴したるを思出しました 御辞に曰く私が洋行するのは西洋を見に行くのではない日本を見に行くのた富士の真の^婆を見るには富士に登つてもだめ遙かに遠州灘に打出て、見ねば と仰せられました 此の一句は私の心魂に徹しまして世界の真理探求に努めました^{ママ} か似而非平和なる者かあつて真の平和を乱さんとする実相を見まして書きましたのか私の夢物語でありましたがあなた様か是を見て濟世救人と御書き下された事は私に取つては無上の光栄でありました 年頭に当り真の平和思想の生みの親たるあなた様の一句を思出し再び茲に御礼申上候謹言

昭和三十一年元旦 永里吉光

徳富蘇峰先生

玉菊下

事情を説明しておく、最晩年の蘇峰は、永里が著した『夢物語』の題辞として、「濟世救人」との書を贈っていた。それに対して、永里は、上京時代の思い出にも触れながら、重ねて感謝の意を伝えようとしているのである。それから8年後の1964（明治39）年、永里は、その起伏に富んだ生涯を閉じた。なお、『夢物語』は現存せず、その内容を知ることはできない。

〔付記〕「2015年度永里一吉氏寄贈永里吉光旧蔵資料」について

以上、「2014年度永里一吉氏寄贈永里吉光旧蔵資料・図書」（以下「2014年度資料」）の紹介を行ってきたが、実は本記事の作成が一つの契機となり、追加の資料寄贈を受けることとなった（「2015年度永里一吉氏寄贈永里吉光旧蔵資料」。以下「2015年度資料」）。2015年度資料については、現在整理を進めている最中であり、ここに目録を掲げることはできないが、以下概略を記し、今後の研究等に資することとしたい。

2015年度資料は、書簡と書類とに大別することができるが、その大半は書簡である。特に、永里の恩人ともいべき深水清からの書簡が40通近くと群を抜いて多く、安達謙蔵からの書簡も6通含まれている。年代は明治30年代が目立ち、それらを分析していけば、帰郷前後における政治活動（旧国権党陣営の選挙活動）の実態が、相当程度明らかになるのではないかと期待される。

また、書類としては、永里が津奈木村村長就任の直前に執筆した「明治年代実業家成功失敗鑑草稿」なる小冊子（表紙に「明治四拾三年七月於韓国仁川記之」とある）や、1918（大正7）年頃に作成されたとみられる「村治改善」と題された津奈木村の治政報告書、本文中でも触れた昭和初期の台湾移住計画関係書類などが目を引く。それらは、永里という人物の個人史、特にその空白期間を埋める上で重要な意味をもつはずである。さらには、蘇峰が『夢物語』に寄せたという書「済世救人」も、2015年度資料において、その現物を確認することができた。

今回紹介した2014年度資料と合わせて、より多くの方々に活用していただけるよう、今後、整理・目録化を進めていきたいと考えている。

末筆ながら、貴重な資料をご寄贈いただき、また、種々の情報をお寄せいただいた永里一吉氏・永里綾子氏に、あらためて御礼を申し上げます。

目録ID	分類	資料名	作成者	出版社
1	資料/卒業証書	[卒業証書](小学初等科第二級)	公立小津奈木小学校	
2	資料/卒業証書	[卒業証書](小学初等科第一級)	公立小津奈木小学校	
3	資料/卒業証書	[卒業証書](小学初等科)	公立小津奈木小学校	
4	資料/卒業証書	[卒業証書](小学中等科第六級)	公立小津奈木小学校	
5	資料/卒業証書	[卒業証書](小学中等科第五級)	公立小津奈木小学校	
6	資料/卒業証書	[卒業証書](小学中等科第四級)	公立小津奈木小学校	
7	資料/卒業証書	[卒業証書](小学中等科第三級)	公立小津奈木小学校	
8	資料/卒業証書	[卒業証書](小学中等科第二級)	公立小津奈木小学校	
9	資料/卒業証書	[卒業証書](尋常科第四年生)	公立小津奈木小学校	
10	資料/卒業証書	[修業証書](高等小学科第三年)	熊本県高等葦北小学校	
11	資料/卒業証書	[修業証書](高等小学科第四年)	熊本県高等葦北北部小学校	
12	資料/卒業証書	[卒業証書](高等小学科)	熊本県高等葦北北部小学校	
13	資料/卒業証書	[卒業証書](政治全科)	東京専門学校長 鳩山和夫	
14	資料/書簡	[書簡](寸志進上につき御笑納願う)	園田安馬	
15	資料/書簡	[書簡](御養生専一に願う、医書の内容紹介ほか)	相模国三浦郡三崎村 永里吉光	
16	資料/書簡	[書簡](帰京を前に金子不足につき送金願う)	相模国三浦郡三崎村 永里吉光	
17	資料/書簡	[書簡](学資送付願ひ、帝国議会の動向や中国・朝鮮・印度からの来学者等について)	本郷区菊阪町 永里吉光	
18	資料/書簡	[書簡](学資受領報知、帝国議会の動向や上野での花見等について)	本郷区菊阪町 永里吉光	
19	資料/書簡	[書簡](学資送付願ひ、御地の米価等は如何)	本郷区菊阪町 永里吉光	
20	資料/書簡	[書簡](学資送付願ひ、御地での米買商人の動向等について)	[永里]吉光	
21	資料/書簡	[書簡](二伯 母上様以下によりしく、三伯 川上操六の死は残念至極)	[永里吉光]	
22	資料/書簡	[書簡](返金延引のお詫び、中川調雲・良通両氏の近況等について)	長崎市東中町 宮川忠善	
23-1	資料/書簡	[書簡](英・露語ともに良教師を得られたことへの祝意ほか近況報告)	島本[信二]	
23-2	資料/書簡	[封筒]	熊本県葦北郡佐敷山本長志	

受 取	作成年月日	形態	数量	備 考
永里吉光	明治16年11月21日	状	1	
永里吉光	明治17年 5 月 7 日	状	1	
永里吉光	明治17年 5 月 7 日	状	1	
永里吉光	明治17年11月 7 日	状	1	
永里吉光	明治18年 5 月12日	状	1	
永里吉光	明治18年11月23日	状	1	
永里吉光	明治19年 5 月18日	状	1	
永里吉光	明治19年11月14日	状	1	
永里吉光	明治20年 2 月27日	状	1	
永里 <small>（マツ）</small> 義光	明治21年 3 月28日	状	1	
永里 <small>（マツ）</small> 義光	明治22年 3 月28日	状	1	
永里 <small>（マツ）</small> 義光	明治22年 3 月28日	状	1	
永里吉光	明治29年 7 月20日	状	1	井上辰九郎以下講師14名連名
牛込区早稲田鶴巻町 永里吉光	明治28年11月16日	状	1	封筒あり
肥後葦北郡津奈木 永里一行	(明治32年) 1 月15日	状	2	封筒あり
肥後葦北郡津奈木 永里一行	(明治32年) 1 月19日	状	1	封筒あり
肥後葦北郡津奈木 永里一行	(明治32年) 3 月18日	状	1	封筒あり
肥後葦北郡津奈木 永里一行	(明治32年) 4 月 3 日	状	1	封筒あり、星亨(自由党)・佐々友房(国民協会)の声望などについての記載あり
肥後葦北郡津奈木 永里一行	(明治32年) 4 月15日	状	2	封筒あり、イギリスとロシアの同盟についても報知(「東洋の為由々敷大事」)
御尊父〔永里一行〕	〔明治32年〕 5 月19日	状	2	元は状 1 (継ぎ目剥離のため状 2)、作成年は目録 ID21との関係による
〔永里一行〕	〔明治32年 5 月19日〕	状	2	書本文は目録 ID20と推定される、作成年は川上操六の死没年による
牛込区早稲田鶴巻町 永里 <small>（マツ）</small> 義光	3 月21日、4 月23日 〔明治32年の帰郷以前〕	状	3	封筒あり、消印判読不能、書簡 2 通同封
永里吉光	7 月20日〔明治32年の帰郷以前〕	状	1	永里からの葉書に対する返信
麴町区三番町 永里 吉光	9 月22日〔明治32年の帰郷以前〕	点	1	目録 ID23-1が入っていたもの(封筒と書簡とが不一致)、消印判読不能

目録ID	分類	資料名	作成者	出版社
24	資料/書簡	〔書簡〕(同宿者等の来歴及び近頃の境遇、熊本県出身者としての矜持ほか)	永里吉光	
25	資料/書簡	〔書簡〕(学資送付願い、学校の休業期間報知)	本郷区菊阪町 永里吉光	
26	資料/書簡	〔書簡〕(徴兵検査受検の報知や諸友の近況等について)	芝区栄町 島本信二	
27	資料/書簡	〔書簡〕(義和団事件後の朝鮮・中国観、政界の動向や諸友の近況等について)	芝区栄町 島本信二	
28	資料/書簡	〔書簡〕(創立20周年・私立大学設立基金への協力願い)	東京専門学校 市島謙吉、鳩山和夫、大隈英磨、高田早苗、坪内雄蔵、天野為之	
29	資料/書簡	〔書簡〕(友人の渡清運動や書籍「支那通商」の紹介ほか近況報告)	芝区栄町 島本信二	
30	資料/書簡	〔書簡〕(先だって札幌農学校を受験ほか近況報告、身内の進路等について)	神田区仲猿楽町 鶴田雅顕	
31	資料/書簡	〔書簡〕(総選挙当選御礼)	佐々友房、出田信記、安達謙蔵、山田珠一、大淵龍太郎	
32	資料/書簡	〔書簡〕(対露同志九州大会への参会依頼)	福岡市天神町憲政本党福岡支部内 対露同志九州大会発起事務所	
33	資料/書簡	〔書簡〕(帝国海事協会婦人部の新設につき勧誘状)	早稲田大学 高田早苗、天野為之	
34	資料/書簡	〔礼状〕	松岡洋右	
35	資料/書類	〔通知〕(村長事務引継日程)	津奈木村長代理・助役 福本限関	
36	資料/書類	引継事項	津奈木村元村長 斎藤季格	
37	資料/書類	〔依頼状〕(津奈木村長永里吉光農事視察につき便宜依頼)	熊本県葦北郡長 黒江軍太郎	
38	資料/書類	大正八年七月各出席組合別出席歩合表		
39	資料/書類	〔津奈木村自治会関係書類〕	〔永里吉光〕	

受 取	作成年月日	形態	数量	備 考
御尊父〔永里一行〕	11月15日〔明治32年の帰郷以前〕	状	2	1枚目欠
熊本県葦北郡津奈木永里一行	12月17日〔明治32年の帰郷以前〕	状	1	封筒あり
熊本県葦北郡津奈木永里吉光	(明治33年)5月30日	状	1	封筒あり、封筒には31日と墨書あり
熊本県葦北郡津奈木永里吉光	(明治34年1月5日)	状	3	封筒あり、作成年月日は消印による
熊本県葦北郡津奈木村 永里吉光	明治34年2月	状	2	封筒あり、印刷文、「早稲田大学基金申込証」同封
熊本県葦北郡津奈木永里吉光	(明治34年)10月21日	状	2	封筒あり
熊本県葦北郡津奈木村 永里吉光	(明治35年7月)17日	状	3	封筒あり、「此度の撰挙葦北郡は大兄の御受持とか」などとあり
熊本県葦北郡津奈木永里吉光	明治35年8月25日	状	2	封筒あり(鎮西館名義)、印刷文、「衆議院議員総選挙得点数調」同封
熊本県球磨郡津奈木村 永里吉光	明治36年9月1日	状	1	封筒あり、印刷文、和泉邦彦以下21名連名
熊本県葦北郡津奈木永里吉光	明治37年12月1日	状	4	封筒あり、印刷文、「義金申込書」「勧誘書(帝国義勇艦隊建設趣意書に添ふもの)」「帝国義勇艦隊建設趣旨及要綱」同封、大隈綾子(重信夫人)が婦人部委員に嘱託されたことを受けての勧誘状
熊本県葦北郡津奈木村 永里吉光	(昭和16年5月19日)	状	1	小型の封筒あり、作成年月日は消印による、名刺サイズの印刷文(「御礼 松岡洋右」のみ)
永里吉光	明治43年9月19日	状	1	津発第1464号、葦北郡津奈木村役場罫紙に墨書
津奈木村長 永里吉光	明治43年9月26日	綴	1	葦北郡津奈木村役場罫紙に墨書(紐綴じ)、「御即位五十年記念事業二関スル件」以下8項目
	明治44年11月28日	状	1	熊本県葦北郡役所罫紙に墨書、視察先への紹介状
	[大正8年7月]	状	1	謄写、裏面に「津奈木村自治会立案」「孝女能加略歴」「節婦サメ略歴」と墨書(メモ)あり
	[大正8～9年頃カ]	綴	1	罫紙に墨書(紐綴じ)、朱書あり、「津奈木村自治会々々則」「津奈木村自治会必行事項要目」「津奈木村自治会大正九年必行事項」

目録ID	分類	資料名	作成者	出版社
40	資料/書類	表彰状(産業組合活動への尽力と功績につき)	産業組合中央会熊本支会会長 川口彦治	
41-1	資料/書類	温州橘栽培収支計算書	永里吉光	
41-2	資料/書類	[温州橘栽培収支計算書下書き]	[永里吉光]	
42	資料/書類	陳情書(県道佐敷岩城線改修に係る政友派の横暴について)	[津奈木村大字福浜区民]	
43	資料/書類	賞状(華北郡津奈木村農会第拾回農産物品評会)	華北郡農会長 山本輝彦	
44	資料/書類	感謝状(村長としての功績顕著につき)	津奈木村長 六車茂一郎	
45	資料/書類	[不知火海沿岸の鰻繁殖保護・禁漁期間変更に関する陳情・建議書類]		
46	資料/書類	感謝状(村長として教育振興・本校盛運に尽力につき)	熊本県華北郡津奈木小学校長 松下重行、創立八十周年記念事業実行委員長 斎藤々吾	
47	資料/書類	松茸人工栽培法 緑肥作物ザードウキツケン栽培法	三村林学博士述	
48	資料/辞令等	[任命状](日本赤十字社正社員に列す)	日本赤十字社総裁 彰仁親王、日本赤十字社長 佐野常民	
49	資料/辞令等	当選状(名誉職村長当選)	津奈木村長代理・助役 福本限関	
50	資料/辞令等	[任命状](他府県実業視察員)	華北郡農会	
51	資料/辞令等	当選状(名誉職村長当選)	津奈木村会議長・助役 松崎磨	
52	資料/辞令等	当選状(名誉職村長当選)	津奈木村長代理・助役 松崎磨	
53	資料/辞令等	[任命状](熊本自営協会華北支部保護委員嘱託)	熊本自営協会華北支部長 田代徳一	
54	資料/辞令等	[当選状](津奈木村農会長当選)	津奈木村農会	
55	資料/辞令等	当選状(華北郡農会議員当選)	津奈木村農会長	

受 取	作成年月日	形態	数量	備 考
有限責任津奈木信用 購買組合組合長理事 永里吉光	大正9年4月13日	状	1	組合は永里を組合長として大正3年5月設立
	大正10年12月	冊	1	墨書(紐綴じ)、大正10年～20年の収支予測、付箋1枚挟み込み
	[大正10年12月]	冊	1	罫紙に墨書(紐綴じ)、目録ID41-1の下書き
	大正12年9月	冊	1	カーボンコピー、連署戸数・陳情日等空白
華北郡津奈木村(農 会長) 永里吉光	大正12年12月24日	状	1	「温州」にて一等賞を受賞
元津奈木村長 永里 吉光	大正13年3月30日	状	2	納税促進・道路改修・学校改築・勲業奨励等の功績、金品贈呈目録添付
	大正13年8月～昭和 4年2月	綴	1	謄写・墨書(紐綴じ)、「陳情書」(不知火海沿岸の禁漁期間変更につき、津奈木村漁業組合理事永里吉光作成、大正13年8月)、「建議」(鯉繁殖保護につき、熊本県水産会宛、昭和4年2月23日)、「書簡写」(永里提出の建議案につき、木津和秀勇作成・久保澤技師宛)、「鯉漁業蕃殖保護ニ関スル調査ノ件[写]」(華北郡水産会長作成・永里吉光代筆・熊本県知事宛、昭和4年)
元村長 永里吉光	昭和30年10月16日	状	1	津奈木小学校80周年記念式典にて授与
		綴	1	謄写(紐・綴じ)、摘記
永里吉光	明治29年10月14日	状	1	
永里吉光	明治43年9月19日	状	1	津発第1465号、華北郡津奈木村役場罫紙に墨書
永里吉光	大正3年4月16日	状	1	発農第171号、華北郡農会罫紙に墨書、静岡・岐阜・岡山地方にて果樹栽培・麦作を視察
永里吉光	大正4年1月6日	状	1	津発第12号、華北郡津奈木村役場罫紙に墨書
永里吉光	大正7年12月31日	状	1	津発第3409号、華北郡津奈木村役場罫紙に墨書
永里吉光	大正11年9月12日	状	1	印刷文
永里吉光	大正12年2月13日	状	1	津農第27号、カーボンコピー
永里吉光	大正12年3月30日	状	1	津農第53号、罫紙にペン書き

目録ID	分類	資料名	作成者	出版社
56	資料/辞令等	〔任命状〕(鎮西館建築委員委嘱)	憲政会熊本県支部長 安達謙蔵	
57	資料/辞令等	〔任命状〕(立憲民政党政務調査部 理事嘱託)	〔立憲民政党〕熊本県 支部長 安達謙蔵	
58	資料/辞令等	〔推薦状〕(立憲民政党華南支部総 務推薦)	立憲民政党華南支部	
59	資料/写真	〔写真〕(永里吉光とその友人た ちカ)	神田区錦町三丁目 写真師 工藤孝	
60	資料/写真	〔写真〕桜島大爆発祈念 桜島大爆 発実景の図 其一	華北郡津奈木村 福 岡巳代治、同郡水俣 村 海谷松次郎(発行)	
61	資料/写真	〔写真〕桜島東桜島鍋山の大噴火		
62	資料/写真	〔写真〕桜嶋大爆発之実況	鹿児島市千石町 第 五神山兄弟写真館	
63	資料/その他	大礼記念章之証	賞勲局総裁 正親町 実正、同書記 藤井 善言	
64	資料/その他	永里吉光自叙伝	永里吉光	
65-1	図書/書写本	〔書写本〕国家法 第一	〔永里吉光(書写)〕	
65-2	図書/書写本	〔書写本〕国家法 第二	〔永里吉光(書写)〕	
66-1	図書/法学	民法論綱 人権之部 下巻	法科大学教授・日本 仏国法学博士 富井 政章(講述)	岡島寶文館
66-2	図書/法学	民法論綱 財産取得編	法科大学教授・日本 仏国法学博士 富井 政章(講述)	岡島寶文館
66-3	図書/法学	民法論綱 財産取得編 中巻	法科大学教授・日本 仏国法学博士 富井 政章(講述)	岡島寶文館
67	図書/法学	海商法(商法第二編)	法学士 原亀太郎 (講述)、法律科得業 生 小山愛治(編集)	私立日本法律学 校
68	図書/法学	民法正義 財産取得編 卷之壹	法学博士・仏国法学 博士 熊野敏三	新法註釈会(私 立明治法律学校 講法会内)
69	図書/法学	民事訴訟法		学友館
70	図書/法学	刑法 刑事訴訟法 附監獄則	三好守雄(発行者)	聚栄堂 大川屋 書店

受 取	作成年月日	形態	数量	備 考
永里吉光	大正15年 6月18日	状	1	
永里吉光	昭和 2年 8月18日	状	1	立憲民政党罫紙に墨書
永里吉光	昭和 2年 9月 2日	状	1	
	明治30年 7月	状	1	写真は台紙より剥離、台紙と同サイズの白紙3枚、写真の説明メモ1枚あり(永里以外に、今木・元山・〔徳カ〕永・山本・白〔坂カ〕・宮崎・松本の氏名記載)
	[大正 3年 1月]	状	1	
	[大正 3年 1月]	状	1	
	大正 3年 1月12日 (撮影)	状	1	裏面に「寄贈」「鶴川 田中」「永里村長殿」と墨書あり
[永里吉光]	大正 4年11月10日	状	1	大正天皇即位大札記念
		綴	1	5丁ひも綴じ(1枚目剥離)、「一、家庭教育」「二、学校教育」(東京専門学校卒業後郷里に帰るまで)より成る、「三、村政」は見出しのみで以下記載なし
		冊	1	罫紙に墨書(和綴じ)
		冊	1	罫紙に墨書(和綴じ)
	明治23年 7月28日 (出版)	冊	1	表紙破損
	明治24年12月20日 (出版)	冊	1	表紙破損
	明治26年 1月18日 (出版)	冊	1	表紙破損
	明治25年 3月 5日 (出版)	冊	1	手製表紙(破損あり)、表紙に「篠原」と墨書あり
	明治25年10月20日 (第 6版)	冊	1	
	明治26年 3月13日 (出版)	冊	1	表紙破損(裏表紙欠)、作成年月日は奥付による(表紙には明治26年 8月出版とあり)
	明治26年 4月 5日 (出版)	冊	1	

目録ID	分類	資料名	作成者	出版社
71-1	図書/法学	訂正増補 法規提要 上巻	内閣法制局(編纂)	八尾活版所
71-2	図書/法学	訂正増補 法規提要 下巻	内閣法制局(編纂)	八尾活版所
72	図書/法学	日本行政法論	法学士 織田萬	六石書房
73	図書/法学	A Treatise on International Law	William Edward Hall	Sanseido (三省堂)
74	図書/法学	[合本]民法正義 財産取得編 卷之式 卷之参	(卷之式)法律学士・ 仏国法律学士 岸本 辰雄、(卷之参)法学 博士・仏国法律博士 井上正一	新法註釈会(私 立明治法律学校 講法会内)
75	図書/法学	民法講義 財産編第一部	法学士 水町袈裟六 (講述)	
76	図書/法学	[民法財産編]		
77	図書/法学	商法第一編講義第二巻	岸本辰雄(講述)	
78	図書/法学	商法(第三編破産之部)	法学士 田中隆三 (講義)、卒業生 依 田弘(編集)	
79	図書/法学	英国憲法 完	文学士 高田早苗 (講義)、政治科得業 生 山澤俊夫(編集)	
80	図書/法学	英国憲法史 完	高田早苗(講述)	東京専門学校
81-1	図書/経済学	租税論	仏国 ポール、レル ワ、ポリユー、大蔵 省租税局(翻訳)	製紙分社
81-2	図書/経済学	租税論 第三冊	仏国 ポール、レル ワ、ポリユー、大蔵 省租税局(翻訳)	
81-3	図書/経済学	租税論 第四冊	仏国 ポール、レル ワ、ポリユー、大蔵 省[租税局](翻訳)	
82-1	図書/経済学	圭氏 経済学 巻一	米国 ヘンリー、 ジー、ケーリー、犬 養毅(訳述)	博文堂
82-2	図書/経済学	圭氏 経済学 巻四	米国 ヘンリー、 ジー、ケーリー、犬 養毅(訳述)	博文堂
83-1	図書/経済学	財政学 上巻	嵯峨根不二郎	牧野善兵衛
83-2	図書/経済学	財政学 中巻	嵯峨根不二郎	牧野善兵衛

受 取	作成年月日	形態	数量	備 考
	明治27年 3 月(出版)	冊	1	表紙破損、奥付欠
	明治27年 6 月23日 (出版)	冊	1	表紙破損
	明治28年 7 月 4 日 (出版)	冊	1	表紙破損
	1896年	冊	1	表紙破損
		冊	1	奥付欠、書き込みあり
		冊	1	表紙破損、奥付欠、書き込みあり、背表紙に「松浦蔵書」とあり(手製表紙カ)
		冊	1	表紙・奥付欠、虫食いによる破損あり、民法財産編公布は明治23年 3 月27日
		冊	1	表紙・奥付欠、虫食いあり、講義録カ
		冊	1	手製表紙(破損あり、「法学士田中氏述 破産法講義」と墨書あり)、書き込みあり、講義録カ
		冊	1	奥付欠、書き込みあり、講義録カ
		冊	1	表紙破損、書き込みあり(「永里吉光閣之」など)
	明治15年11月(出版)	冊	1	表紙破損、書き込みあり
	明治17年 4 月22日 (出版届)	冊	1	
	明治28年11月	冊	1	表紙破損、「群馬県収税課」との朱印あり
	明治19年 3 月 8 日 (再版)	冊	1	手製表紙
	明治21年 3 月23日 (出版)	冊	1	手製表紙
	明治23年 1 月22日 (出版)	冊	1	書き込みあり
	明治24年 1 月 6 日 (出版)	冊	1	書き込みあり

目録ID	分類	資料名	作成者	出版社
84	図書/経済学	経済原論	天野為之	富山房書店
85	図書/経済学	租税通論 上編	文学士 添田寿一	金港堂
86	図書/経済学	外国為替詳解	土子金四郎	哲学書院
87	図書/経済学	公債論	田尻稻次郎(講述)、 高雄馬一郎(筆記)	
88	図書/語学	A Grammar Containing the Etymology and Syntax of the English Language	William Swinton	戸田直秀
89	図書/語学	Russian Conversation Grammar for General Use	Pietro Motti	Julius Groos
90	図書/語学	Sander's Union Fourth Reader	Charles W. Sanders	三省堂書店
91	図書/語学	Handbook of English-Japanese Etymology	William Imbrie	小川尚栄堂
92	図書/語学	More Grammar Lessons for Japanese Students	J. N. Seymour	丸善
93	図書/語学	露和袖珍字彙	高須治輔(編纂)	丸善
94	図書/語学	Student's Edition of a Standard Dictionary of the English Language		共益商社
95	図書/語学	Barnes New National Fourth Reader		Sekizenkuwan (積善館カ)
96	図書/その他	日本政記 二～八(卷之三～十六)	頼襄了成	
97	図書/その他	万国地誌略 卷之一	師範学校(編集)	文部省
98-1	図書/その他	内国史略 前編卷之一～八	南摩綱紀(編集)	
98-2	図書/その他	内国史略 後編上・下	南摩綱紀(閲)、石村 貞一(編次)	甲府書林
99	図書/その他	日本略史 卷之三～四		内藤伝右衛門 (発行)
100	図書/その他	標記増補 十八史略 卷之四～卷 之七	岩垣東国(再校著)	
101	図書/その他	評註唐宗八大家文読本 一～十六 (卷一～三十)	沈徳潜(評点)、吉田 利行(評註)	林斧介(出版人)

受 取	作成年月日	形態	数量	備 考
	明治23年 4月25日 (第14版)	冊	1	表紙欠、破損あり
	明治25年11月16日 (出版)	冊	1	表紙破損、書き込みあり
	明治28年 2月26日 (出版)	冊	1	表紙破損、書き込みあり
		冊	1	表紙破損、奥付欠、書き込みあり(「肥後葦北 永里吉光」など)
	明治23年10月(再版)	冊	1	表紙破損、ノート紙片挟み込み(「二級前期 永里吉光」などとあり)
	1890年	冊	1	
	明治26年 4月10日 (7版)	冊	1	表紙破損
	明治30年 4月(12版)	冊	1	表紙破損
	明治31年 4月25日 (訂正 8版)	冊	1	表紙破損
	明治31年 7月15日 (再版)	冊	1	表紙破損、渡邊至序文
	明治32年 8月25日 (出版)	冊	1	表紙破損
		冊	1	表紙破損、発行地は大坂
	明治 7年 1月(出版)	冊	7	和綴じ本、虫食いによる破損あり、「二」の奥付に「明治廿六年十月下旬於首都求之」と墨書あり
	(紀元2534年 = 明治 7年 4月)	冊	1	和綴じ本、手製表紙に「第十六号 永里吉光」と墨書あり、作成年月日は凡例による
	明治 9年 7月(再版)	冊	4	和綴じ本、虫食いによる破損あり、手製表紙に「明治二十年丁亥正月求之」と墨書あり、旧蔵者伊藤寅雄
	明治 8年12月14日 (版權免許)	冊	2	和綴じ本、虫食いによる破損あり
	明治10年 4月(出版)	冊	2	和綴じ本、虫食いによる破損あり、各冊奥付に「明治十五年十一月八日求之」と墨書あり
	明治16年 5月	刷	4	和綴じ本、手製表紙に各冊「第二十七号」「第二十八号」「第二十九号」「第三十一号」と墨書あり
	明治18年 5月(出版)	冊	16	和綴じ本、虫食いによる破損あり

目録ID	分類	資料名	作成者	出版社
102	図書/その他	増冠宏智禅師頌古 卷之上・下	古田梵仙	梶田勘助
103	図書/その他	家畜原論 全	米国 アーレン、日山豊次郎(訳)	日山豊次郎
104	図書/その他	新撰理科書 訂正一下	理学士 高島勝次郎(編纂)	文学社
105	図書/その他	府県制郡制 完		日本書籍会社
106	図書/その他	米国史	川島純幹(編)	博文館
107	図書/その他	戦袍日記 全	佐々友房	小立鉦四郎(南江堂)
108	図書/その他	四書講義 上巻	内藤耻叟(謹述)	博文館
109	図書/その他	普通学全書第廿二篇 地質学新書	長濱兼吉(編纂)	富山房書店
110	図書/その他	万民活用 いろは画引兩字典 全	棚橋廣	松柏堂
111	図書/その他	政治汎論 全	米国 ウッドロオ、ウイルソン、高田早苗(訳)	東京専門学校出版部
112	図書/その他	日本帝国第十四統計年鑑	内閣書記官室統計課(編纂)	内閣書記官室記録課
113	図書/その他	万国史要	ウイリアム、スウィントン、松島剛(訳述)	春陽堂
114	図書/その他	倫敦タイムス社寄書	[ロンドンタイムス社]東京支社(編集)	
115	図書/その他	日耳曼史	北村三郎(編述)	
116	図書/その他	Outlines of the World's History	William Swinton	Ivison, Blakeman, Taylor
117	図書/その他	The Arabian Night's Entertainments - a New Edition Revised	Rev. Geo. Fyler Townsend	George Routledge & Sons
118	図書/その他	Irving's Sketch-book		Cassell & Company
119	図書/その他	The Iliad of Homer	Rev. Theodore Alois Buckley and Flaxman's Designs, Alexander Pope (Translated by)	Frederick Warne
120	図書/部分	[書籍断片]日本帝国憲法論	法学博士 副島義一	

受 取	作成年月日	形態	数量	備 考
	明治19年 6月10日	冊	2	和綴じ本、虫食いによる破損あり
	明治20年 8月22日 (出版)	冊	1	表紙破損
	明治21年 2月25日 (再版)	冊	1	和綴じ本、手製表紙に「永里吉光所有」「維持明治廿二年六月」と墨書あり
	明治23年 6月13日 (再版)	冊	1	表紙破損
	明治23年10月 2日 (出版)	冊	1	表紙欠、破損あり、書き込みあり、松下丈吉による序文落丁
	明治24年10月23日 (再版)	冊	1	表紙破損
	明治25年 6月 8日 (出版)	冊	1	表紙破損、資料名は背表紙による(表紙には「大学講義 中庸講義」とあり)
	明治25年 7月23日 (出版)	冊	1	手製表紙(「地質学新書」と墨書あり)
	明治26年10月 1日 (再版)	冊	1	奥付破損、『作文寶典 新選伊呂波字引』と『新選画引 普通玉篇』の合本、「明治廿八年 於東都求之」云々の書き込みあり
	明治28年10月30日 (出版)	冊	1	裏表紙に「園田氏所送 永里吉光」と墨書あり
	明治28年12月 5日 (出版)	冊	1	表紙破損
	明治29年 5月20日 (第11版)	冊	1	表紙破損
	明治39年 1月	冊	1	和綴本、大英百科全書日本購読者からの書簡を紹介(英文あり)
		冊	1	表紙・奥付欠
		冊	1	表紙破損、明治19年11月戸田直秀出版との奥付挟み込み
		冊	1	表紙破損
		冊	1	表紙・～160頁欠、資料名は背表紙による
		冊	1	
		冊	1	表紙・奥付欠(1～64頁)、講義録の一部カ、綴じ部に「政法一号(共通)」とあり

目録ID	分類	資料名	作成者	出版社
121	図書/部分	〔書籍断片〕経済原論	経済学博士 阿部賢一	
122	図書/部分	〔書籍断片〕労働問題	経済学博士 林癸未夫	
123	図書/部分	〔書籍断片〕各国政治組織	法学博士 森口繁治	
124	図書/部分	〔書籍断片〕政治学概論	政治学博士 高橋清吾	
125	図書/部分	〔書籍断片〕政治史	早稲田大学教授 煙山専太郎	
126	図書/部分	〔書籍断片〕(フランス税制史関連)		
127	図書/部分	〔書籍断片〕(講義録案内ほか)		〔東京専門学校出版部〕
128	図書/部分	〔書籍断片〕(東京専門学校出版部発行図書案内ほか)		〔東京専門学校出版部〕
129	図書/部分	〔書籍断片〕(東京専門学校出版部発行図書案内ほか)		〔東京専門学校出版部〕
130	図書/部分	〔書籍断片〕(早稲田叢書案内)		〔東京専門学校出版部〕
131	図書/部分	〔書籍表紙〕万国歴史全書第九編 魯国史 全	北村三郎	博文館
132	図書/部分	東京専門学校校外生特別券		
133	図書/部分	校外生入学証		
134	図書/部分	〔送金通知券〕		
135	図書/古典籍	五代史 序目・一～十四(卷一～七十四)		三都書房
136	図書/古典籍	諸葛孔明異伝 兵法註解評林 序・卷之一～七	章嬰與參註	
137	図書/古典籍	魁本大字諸儒箋解古文真寶 卷之下後集		書肆 大坂屋長右衛門 板
138	図書/古典籍	武経開宗 五		
—	図書/晋書	晋書 卷一～一三〇(帝紀第一～載記第三〇)		松会堂

受 取	作成年月日	形態	数量	備 考
		冊	1	表紙・奥付欠(1～16頁)、講義録の一部カ、綴じ部に「政法一号共」とあり
		冊	1	表紙・奥付欠(1～32頁)、講義録の一部カ、綴じ部に「政一号」とあり
		冊	1	表紙・奥付欠(1～32頁)、講義録の一部カ、綴じ部に「政治一号」とあり
		冊	1	表紙・奥付欠(1～64頁)、講義録の一部カ、綴じ部に「政一号」とあり
		冊	1	表紙・奥付欠(1～40頁)、講義録の一部カ、綴じ部に「政治一号」とあり
		冊	1	表紙・奥付欠(261～268頁)
	[明治33年9月以降]	冊	1	表紙・奥付欠(1～16頁)、出版社・作成年月日は内容による
	[明治33年9月以降]	冊	1	表紙・奥付欠(15～22頁)、出版社・作成年月日は内容による
		冊	1	表紙・奥付欠(17～18、13～14頁)、出版社は内容による
		冊	1	表紙・奥付欠(1～12頁)、出版社は内容による
		状	1	表紙のみ
		状	1	未記入、4枚1綴、講義録に綴じ込まれていたものカ
東京専門学校		状	1	未記入、2枚1綴、講義録に綴じ込まれていたものカ
東京専門学校出版部		状	1	未記入、講義録に綴じ込まれていたものカ
	文化10年(1813年)	冊	15	和綴じ本、虫食いによる破損あり
		冊	7	和綴じ本、虫食いによる破損あり
		冊	1	和綴じ本、破損甚大、閲覧・利用不可
		冊	1	和綴じ本、虫食いによる破損あり、「六韜下九」「威南塘十」
		冊	一括	和綴じ本、破損甚大、閲覧・利用不可